

運輸新聞

E-mail inquiry@unyu.co.jp URL http://www.unyu.co.jp

発行所・運輸新聞株式会社
東京都荒川区西日暮里3-6-10
佐々木ビル3F 〒116-0013
TEL03-5685-0035
関西支社 大阪市中央区瓦町1-3-2
〒541-0048 TEL06-6209-3261
発行人・野田裕之
火・金発行(祝日を除く)
3,600円/月(送料・税込)

2021年

7月2日(金)

第17408号

http://www.e-sohko.com



物流大綱 KPI をフォローアップ

DXの進捗状況を注視へ

主なKPI

項目	目標
物流DXの推進	
〇物流業務のDX化に向け取り組みに着手している物流事業者の割合	100%
〇物流DXを実現している物流事業者の割合	70%
〇DX化に向けて荷主と連携した取り組みをしている物流事業者の割合	50%
労働環境の整備	
〇ドライバーの年間所得額平均	全産業平均
〇ドライバーの平均労働時間	全産業平均
労働生産性	
〇物流業の労働生産性	3083円/時
〇トラックの積載効率	50%
〇物効法認定件数(輸配送の共同化)	100件
〇宅配の再配達率	7.5%
広報の強化	
〇物流の現状や課題に対して問題意識を持っている消費者の割合	100%
〇「担い手にやさしい物流」を実践している消費者の割合	80%

6月15日に閣議決定した「総合物流施策大綱(21~25年度)」に関して、国土交通・経済産業・農林水産省は28日に報告会を開催、今後DXのメニューを列記してアンケート調査を行うことが報告された。報告会では、大綱と同時に示されたKPI(数値目標)に対して、有識者検討委員会からさまざまな意見が出された。

DXのKPIは3項目(デジタルの変革や働き方改革を設定。自動化・機械化に比較的取り組みやすいものを含め何らかの取り組みに着手している物流事業者の割合を70%、外装サイズの変更やシステム導入など荷主と連携した取り組みを50%と行っている割合を50%と設定した。

これについて、国土交通省から「自動化・機械化のメニューを列記してアンケート調査を行い、25年度までにビジネスモデルの変革につなげていく」との意見があった。

く。荷主との連携についてもアンケートを行う」と報告された。

委員からは「ビジネスモデルに直接のKPIを設けるのは難しいが、KPIが達成できたら素晴らしいものではなく、今後5年間を土台にした上で本当の意味でビジネスモデルができていければ」との意見があった。

なされた。

広報の強化について、国土交通省が白書作成時などに行っているインターネットモニターアンケートに物流に関する項目を追加していくと説明があった。

KPIの進捗を含む政策評価について、今後年度末に近い時期に毎年度フォローアップを行い、次年度の取り組みの報告を示すことにした。

なお、報告会に際し、国土交通省の久保田公共政策・物流政策審議官は「大綱は関心が高く、この機を逃さずできる限りのことを行う」、農林水産省の安岡生産振興審議官は「輸出目標達成のため、産地から直接出せるよう取り組む」、経済産業省の島山商務・サービス審議官は「物流危機は経済全体に影響する。物流が成長産業となるよう、大綱の着実な実施が大事」と語った。

度末に近い時期に毎年度フォローアップを行い、次年度の取り組みの報告を示すことにした。

なお、報告会に際し、国土交通省の久保田公共政策・物流政策審議官は「大綱は関心が高く、この機を逃さずできる限りのことを行う」、農林水産省の安岡生産振興審議官は「輸出目標達成のため、産地から直接出せるよう取り組む」、経済産業省の島山商務・サービス審議官は「物流危機は経済全体に影響する。物流が成長産業となるよう、大綱の着実な実施が大事」と語った。

産省の安岡生産振興審議官は「輸出目標達成のため、産地から直接出せるよう取り組む」、経済産業省の島山商務・サービス審議官は「物流危機は経済全体に影響する。物流が成長産業となるよう、大綱の着実な実施が大事」と語った。

当日配送が安価で提供できることになり、利用者の利便性を向上させる。7月1日から、午前中に集荷した荷物をその日に香りが使用されておき、これらの製品や化粧品(化粧品)に使用される香料は「香料(香料)」と呼ばれる。東京税関によると、化粧品香料の輸入数量は2020年は1万1211.184億円で、2000年との比較ではそれぞれ約5倍、約4.5倍となった。19年比ではやや下回り、減少要因は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消費者の外出機会減少や海外からのインパウンド需要の消失により一部の製品の販売が伸び悩んだこと、物流の遅延などの影響が挙げられる。

一方で、衛生面への配慮により生産量(化粧品香料の使用量)が増加したとみられる製品もあり、そのバランスが輸入動向に表れているのではと見られる。

◆港別では東京港がトップで横浜港、成田空港、神戸港の順に多く、4港で全体の輸入数量・金額の9割を超える。大手香料会社の本社などが関東地区に多いことが関係していると考えられるという。国別輸入数量は1位がシンガポール、2位は中国だった。◆コロナ禍で対面人と会わずに化粧品の購入機会が減少したため化粧品が減少しているが、マスク・消毒液の消費は増える。こんな日々が続くまで続くのだろうか。(21・7)

石けんやシャンプー、洗剤、芳香剤などの多くに香料が使用されており、これらの製品や化粧品(化粧品)に使用される香料は「香料(香料)」と呼ばれる。東京税関によると、化粧品香料の輸入数量は2020年は1万1211.184億円で、2000年との比較ではそれぞれ約5倍、約4.5倍となった。19年比ではやや下回り、減少要因は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消費者の外出機会減少や海外からのインパウンド需要の消失により一部の製品の販売が伸び悩んだこと、物流の遅延などの影響が挙げられる。

物流連

新会長に池田氏 商船三井会長

より活発に意見交換の場を



池田会長

日本物流団体連合会(物流連)は6月29日、東京・港区の第一ホテル東京で定時総会を開催。役員選任で、日本船主協会会長の池田潤一郎氏(商船三井会長)が第11代目会長に選任され、副会長(代表理事)には新たに渡邊健二前会長(日通)の抱負を語った。

「物流を広く等身大で社会に知ってもらうことが大事。特に若い人が物流をやりがいのある仕事ととらえ、この業界で力を発揮してもらえよう努力すること、物流業界インターンシップの開催などを挙げた。新たな物流施策大綱で示された内容を官民連携で取り組むこと、特に物流生産性向上を目指した標準化の取り組みでは引き続き調査・検討を行うとした。

さらに、物流企業の国際展開に資するための施策や地球環境問題への対応、社会インフラとしての機能強化、有事の際の

本通連会長が就任した。その後、開かれた記者会見で池田会長は「物流連は7月30日で創立30周年を迎える。これまでのさまざまな活動と蓄積された内容を踏まえつつ、アフターコロナを見越して、より活発に意見交換する場を設けていきたい」と、今後

人が物流をやりがいのある仕事ととらえ、この業界で力を発揮してもらえよう努力すること、物流業界インターンシップの開催などを挙げた。新たな物流施策大綱で示された内容を官民連携で取り組むこと、特に物流生産性向上を目指した標準化の取り組みでは引き続き調査・検討を行うとした。

さらに、物流企業の国際展開に資するための施策や地球環境問題への対応、社会インフラとしての機能強化、有事の際の



物流環境大賞の表彰

サプライチェーンの維持、労働力不足対策など、社会が直面する諸課題の解決に向け取り組むとした。

渡邊前会長は、2年間の活動期間について「コロナ禍でほとんど活動できなかつたことは残念。物流業界が直面する課題は国の力がないと解決できない問題が多い。ただ、物流連は提言できる大事

な位置にある」と話した。総会に先立ち第22回物流環境大賞表彰が行われた。大賞のペイシア、河村商事、日本アクセス、関東デイリー、南日本運輸倉庫、ケーツー、昌和商事の7社に、低炭素物流推進賞、サステナブル活動賞、先進技術賞、日本物流記者会賞の各表彰が行われた。

当)には岩月理浩九州運輸局長が就任した。自動車局貨物課長には日野祥英氏が就任。

寺田吉道氏(てらだ・よしみち)1965年12月12日生、岐阜県出身。89年運輸省入省、2013年自動車局旅客課長、14年自動車局旅客課長、15年新潟県副知事、17年大臣官房審議官、19年鉄道局長。岩月理浩氏(いわつき・まさひろ)1967年7月11日生、愛知県出身。90年運輸省入省、14年内閣官房内閣参事官、15年中部国際空港経営企画部長、17年港湾局総務課長、19年九州運輸局長。

閣官房内閣参事官、15年中部国際空港経営企画部長、17年港湾局総務課長、19年九州運輸局長。

寺田吉道氏(てらだ・よしみち)1965年12月12日生、岐阜県出身。89年運輸省入省、2013年自動車局旅客課長、14年自動車局旅客課長、15年新潟県副知事、17年大臣官房審議官、19年鉄道局長。岩月理浩氏(いわつき・まさひろ)1967年7月11日生、愛知県出身。90年運輸省入省、14年内閣官房内閣参事官、15年中部国際空港経営企画部長、17年港湾局総務課長、19年九州運輸局長。

閣官房内閣参事官、15年中部国際空港経営企画部長、17年港湾局総務課長、19年九州運輸局長。

寺田吉道氏(てらだ・よしみち)1965年12月12日生、岐阜県出身。89年運輸省入省、2013年自動車局旅客課長、14年自動車局旅客課長、15年新潟県副知事、17年大臣官房審議官、19年鉄道局長。岩月理浩氏(いわつき・まさひろ)1967年7月11日生、愛知県出身。90年運輸省入省、14年内閣官房内閣参事官、15年中部国際空港経営企画部長、17年港湾局総務課長、19年九州運輸局長。

閣官房内閣参事官、15年中部国際空港経営企画部長、17年港湾局総務課長、19年九州運輸局長。

寺田吉道氏(てらだ・よしみち)1965年12月12日生、岐阜県出身。89年運輸省入省、2013年自動車局旅客課長、14年自動車局旅客課長、15年新潟県副知事、17年大臣官房審議官、19年鉄道局長。岩月理浩氏(いわつき・まさひろ)1967年7月11日生、愛知県出身。90年運輸省入省、14年内閣官房内閣参事官、15年中部国際空港経営企画部長、17年港湾局総務課長、19年九州運輸局長。

国土交通省の7月1日付人事異動で、大臣官房公共交通・物流政策審議官に寺田吉道鉄道局長が就任した。寺田氏を補佐する大臣官房審議官(公共交通・物流政策担



寺田 吉道 氏

国土交通省の7月1日付人事異動で、大臣官房公共交通・物流政策審議官に寺田吉道鉄道局長が就任した。寺田氏を補佐する大臣官房審議官(公共交通・物流政策担

国土交通省の7月1日付人事異動で、大臣官房公共交通・物流政策審議官に寺田吉道鉄道局長が就任した。寺田氏を補佐する大臣官房審議官(公共交通・物流政策担

国土交通省の7月1日付人事異動で、大臣官房公共交通・物流政策審議官に寺田吉道鉄道局長が就任した。寺田氏を補佐する大臣官房審議官(公共交通・物流政策担

国土交通省の7月1日付人事異動で、大臣官房公共交通・物流政策審議官に寺田吉道鉄道局長が就任した。寺田氏を補佐する大臣官房審議官(公共交通・物流政策担

国土交通省の7月1日付人事異動で、大臣官房公共交通・物流政策審議官に寺田吉道鉄道局長が就任した。寺田氏を補佐する大臣官房審議官(公共交通・物流政策担

